

# 民放BSミニ番組好評

## 低予算で全国に映像発信

民放のBS放送で、5分程度で楽しめるユニークなミニ番組が増えている。低予算で全国に映像発信できるのに加え、スポンサー側の意向を反映しやすいことも魅力のようだ。最近スタートした3番組を紹介する。（井上晋治）

BSフジで9日に始まった「未来へのチカラ」福原愛夢の舞台へ」（日曜後7・55）は、卓球界の人気者・福原愛選手の幼い頃から、2012年のロンドン五輪を目指す現在に至るまでをたどる。食品メーカー・日清オイリオが1社提供するドキュメンタリーだ。

「天才卓球少女」として世間の注目を浴びた17年前からの注目を浴びた17年前から、一人のディレクターが報道用に撮り続けてきた膨大な映像記録と、先月末に行った最新インタビューをもとに、「愛と五輪」「卓球王国」など毎回テーマを替え、3分余の映像で全12話に構成する。湊谷珠水・編成プロデューサーは「映像は3分半と短いですが、テーマを絞れば起承転結が出て、内容を濃くすることができると考えている」と理由を説明する。

松島クルーズや名物の牛タン料理など、同県内の観光の見どころや物産情報などを網羅する。沢井研志プロデューサーは「自治体提供のレギュラー番組は珍しい。他の自治体にも注目されればBS全体の活性化にもつながる」と力を入れる。



BSフジ「未来へのチカラ」の23日の放送では、福原選手が卓球王国・中国の日々を語る



BS-TBS「伊達な旅紀行 いいところみやぎ」の24日の放送では、「みやぎの明治村」と呼ばれる登米の町並みを紹介する

「CLUB 104」（火曜後9・55）は、資産運用会社・三井住

ず人気の高い選手だけに、幅広い視聴者層を意識している」と話す。

BS-TBSで3日にスタートした「伊達な旅紀行 いいところみやぎ」（月曜後7・54）は、スポンサーの宮城県が観光PRのため、BS向けの番組企画を公募して制作された番組。県広報課は「BSの視聴者にはテレビをじっくり見る中高年層が多い。BSデジタル放送の世帯普及率が昨年、5割を超えた」と聞き、観光客誘致には全国に映像で魅力を発信できるBSが適していると考えたと理由を説明する。



BS朝日「CLUB 104」でマスター役を演じる六角精児

友アセットマネジメントの1社提供のミニドラマ。毎回、「投資」とも読める名前のバーを訪れる様々な客の悩み

を、俳優六角精児演じるマスターや、たとえ話で中国の経済事情を唐突に話す謎の中国人女性客の合いの手によって解決に導く筋書きだ。

ドラマ形式は、スポンサー側の意向で盛り込むアジア投資に関する情報を、柔らかな表現で伝えるというねらいもある。川島保男プロデューサーは「番組と番組の合間の5分枠は視聴者に一番ザッピンクされやすい時間帯。ちょっと立ち止まって見てもらいたいのでアイデアが大事」と話す。

短くてもきらりと光るBSのミニ番組の注目度は、徐々に高まりつつある。